

卒業、入学、入社時期へ

学校年度が4月となったことにより、卒業が3月、企業への入社も4月となってきました。

世界では9月始まりが主流で、入社時期などもまちまちです。

世界でも珍しい日本の新年度4月始まりですが、春という季節、また「桜の季節」ということでみなさんの思い出の中でも印象深い出来事となっているでしょう。

グローバルスタンダードに合わせて、日本でも学校年度を9月にという話がありますが、季節と行事が綺麗に組み合わさっているこの時期は素敵ですよ。

「住みたい町ランキング」 神奈川県をクローズアップ

先日2023年度版「住みたい街ランキング」が発表された。
TOP10は以下の通り。

- 1位 横浜 □ 2位 吉祥寺 □ 3位 大宮 □ 4位 恵比寿 □ 5位 新宿
- 6位 目黒 □ 7位 池袋 □ 8位 鎌倉 □ 9位 渋谷 同9位 東京

横浜が6年連続1位。私を含め横浜市民にとっては誇れる話ではあるが、一抹の疑問もよぎる。横浜駅は全国でも有数のターミナル駅、商業施設も沢山あり、大企業の横浜支店も数多くある、立地上は関内と並ぶ官庁街でもある。果たしてこの横浜駅から徒歩圏内である20分以内にとだけの人々が住んでいるのだろうか？

そこで横浜市の違いの人口を調べてみた。

1位は港北区の330,888人、最小は予想通り横浜駅の立地である西区の103,501人、港北区の1/3以下だ。「住みたい街」憧れであれば頷けるが…。

横浜駅西口の再開発もほぼ終わり、隣接するタワーマンションも今年中には竣工予定であろう。総戸数450戸超の巨大マンションも殆どの人にとって高嶺の花であろう。

マンションの平均価格は、神奈川県は東京に次ぐ全国第2位ではあるが、横浜駅周辺とみなとみらい地区が主導で単価を吊り上げているのは否めない。

それでは神奈川県内の10位以下から100位までを見てみよう。

- 14位 武蔵小杉 □ 20位 桜木町 □ 26位 みなとみらい □ 32位 海老名
- 35位 藤沢 □ 44位 川崎 □ 52位 辻堂 □ 57位 江ノ島 □ 64位 新横浜
- 67位 小田原 同67位 大船 □ 72位 相模大野 □ 88位 日吉 □ 90位 戸塚 同90位 茅ヶ崎 □ 92位 上大岡 □ 94位 センター北 □ 95位 本厚木

14位武蔵小杉は数年前の台風で停電事故を起こしランキングは

下がったが、まだまだ根強い人気だ。ここで健闘しているのは海老名だ。タワーマンションが数棟駅周辺に建設され、ここ数年で一気に人気を高めた。地元の人に聞くと賑わいは確かにでたが、土・日曜日は交通渋滞がひどく、道路の整備が課題とおっしゃっていた。藤沢も35位と着実に順位を上げている。長男家族が住んでいるが、長男の嫁曰く「子供政策が充実していて住みやすい街」だそう。

次に神奈川県内で「住みたい自治体」でみると、

- 1位 横浜市 □ 2位 鎌倉市 □ 3位 川崎市 □ 4位 藤沢市 □ 5位 茅ヶ崎市

やはりここでも1位は横浜市、2位は観光都市鎌倉市だ。最近人気の湘南地区、藤沢市、茅ヶ崎市はベスト5に名を連ねている。神奈川県の魅力について尋ねると、

- 1位 都心に近く交通アクセスが良好 □ 2位 バランスがいい □ 3位 自然を感じられる □ 4位 観光スポットが多い □ 5位 おしゃれな雰囲気

となっている。

最後に「住み続けたい街ランキング」をみると、

- 1位 湘南海岸公園 □ 2位 馬車道 □ 3位 日本大通り □ 4位 鵜沼 □ 5位 東銀座

神奈川県内1位から4位まで独占だ。1位の湘南海岸公園と4位の鵜沼は江ノ島電鉄沿線で、両駅とも湘南海岸までは徒歩圏内、子育て世代からリタイア世代まで幅広く愛される街であることは頷ける。5位の東銀座はちょっと意外だった。

第26回 今月もウォーキングにお付き合いください

三成 哲也の

ウォーキング 日誌



3月5日 戸塚区の次男宅までウォーキング

次男宅に所用で、9時に自宅を出発、到着は11時前後の予定。空は曇り空、今は雨の心配はないが、午後から夕方にかけては一雨きそうな空模様だ。

鎌倉街道の清水橋の信号を突っ切り野庭方面に向かう。この道は良く歩く道だ。坂道の途中善行寺の掲示板が目につく。今月の法語が掲示されている。

「心の光がともるのは聞くことから」ヘレンケラーとある。ヘレンケラーといえ、幼いときに視力と聴力を失いながらも勉学に励み、障害者の教育と福祉の発展に貢献したような内容を学校で習った記憶がある。盲目だったから

こそこのような名言をのこしたのか、何とも奥の深い言葉だ。私も今後の残り少ない人生に役立てたい。ヘレンケラーの詞を噛みしめながら足を進める。

ブックオフの看板がみえてきた。ここまではだいたい30分の道のりだ。予定通りのペースだ。このブックオフにはよく行くが駐車場が少ないのが難点だ。

ブックオフの看板を見ると自宅に溜まった200~300冊の本の処分が頭をよぎる。時々長男や次男の嫁が来て読みたい本を持って帰ってくれるが、高が知れている。ブックオフの出張買取にだそうと何度も思ったが、なかなか手放す気にはなれない。多少の愛着を感じているのか、もう一度読み直したい本があるのか…今年は何としても処分しよう。

日限地藏が左手に見えてきた。お地藏さまにお参りする。その先に伯父と従兄弟が眠っている霊園もある。ここでは、お線香をあげて、ビールとコーヒーをお供えする。同い年の従兄弟の顔が目につく。短い人生だった、不憫でならない。

霊園を越すとまた上り坂になる。舞岡熊之堂の信号を右折して戸塚駅方面に向かう。戸塚駅の構内を抜けて長後街道にでる。この長後街道はよく車で走った道だ。街道沿いのお店も様変わりした。以前はここにこんなお店があったが、今は新しいお店が軒を連ねる。これも時の流れなのか、ちょっと寂しい気になる。

ヤマダ電機が見えてきた。ここまで来るとあと10分ほどで到着だ。可愛い二人の孫娘と会うのも久しぶりだ。この家では嫁側の親は、じいじ、ばあばと呼ばせ、私らはおじいちゃん、おばあちゃんと呼ばせている。いざ「おじいちゃん」と呼ばれると本当に年をとった気になるから不思議なものだ。果たしてこの子らの結婚式には参列できるのか。

どう考えても疑問符が付く。

次男宅着 11時20分